

## 第2号報告資料

## 平成29年度事業報告書

(平成29年2月1日から平成30年1月31日まで)

## ①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第117回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成28年4月27日～29日

場所 パシフィコ横浜（横浜市）

参加者数 15,726名 演題数 3,326題

テーマ 「医療安全そして考える外科学

(Clinical Safety and Contemplation of Surgical Science)」

- ・学術集会の在り方を検討した。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（案）」を検討した。

## ②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本した）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成29年2月10日	118	臨時増刊2	39,200
平成29年3月1日	118	2	7,000
平成29年5月1日	118	3	7,000
平成29年7月1日	118	4	7,000
平成29年9月1日	118	5	7,000
平成29年11月1日	118	6	7,000
平成30年1月1日	119	1	7,100

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成29年2月1日	47	2	40,000
平成29年3月1日	47	3	40,000
平成29年4月1日	47	4	40,000
平成29年5月1日	47	5	40,000
平成29年6月1日	47	6	40,000
平成29年7月1日	47	7	40,000
平成29年8月1日	47	8	40,000
平成29年9月1日	47	9	40,000
平成29年10月1日	47	10	40,000
平成29年11月1日	47	11	40,000
平成29年12月1日	47	12	40,000
平成30年1月1日	48	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

発行年月日	巻
平成 29 年 2 月 1 日	3
平成 29 年 3 月 1 日	3
平成 29 年 4 月 1 日	3
平成 29 年 5 月 1 日	3
平成 29 年 6 月 1 日	3
平成 29 年 7 月 1 日	3
平成 29 年 8 月 1 日	3
平成 29 年 9 月 1 日	3
平成 29 年 10 月 1 日	3
平成 29 年 11 月 1 日	3
平成 29 年 12 月 1 日	3
平成 30 年 1 月 1 日	4

#### ③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) の参加候補者を決定した。(4名)  
永田 洋士 (東京大学腫瘍外科)  
田村 亮 (高島市民病院外科)  
山下 奈真 (九州大学消化器・総合外科)  
平岩 伸彦 (東京大学心臓外科)
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。
- ・ 外国人若手医師を受け入れる研修制度の仕組みを検討した。
- ・ 「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体」に参画した。

#### ④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して, ビデオライブラリーに収載した。  
土岐祐一郎 (大阪大学消化器外科)  
「気管浸潤を伴う食道癌に対する縦隔気管孔造設術」  
渡邊 昌彦 (北里大学外科)  
「内視鏡外科は教育を変えたか」  
原 尚人 (筑波大学乳腺甲状腺内分泌外科)  
「整容性を重視した甲状腺乳頭癌に対する甲状腺切除および頸部側方郭清」  
平野 聡 (北海道大学消化器外科 II)

「臍体部癌に対する胃血行再建を付加した腹腔動脈合併尾側臍切除 (DP-CAR)」  
 横見瀬裕保 (香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科)  
 「局所進行肺癌に対する導入化学放射線療法・肺切除術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用 (定款第4条第5号)

- ・外科専門医制度に則り, 外科専門医を認定し, 指導医を選定し, 認定登録医を登録し, 指定施設と関連施設を指定した.
- ・日本専門医機構と協働して, わが国の新しい専門医制度の構築のために, 「外科領域専門研修プログラム」を審査し, 日本専門医機構認定の専門医の認定に向けた諸準備を行った.
- ・外傷講習会を開催し, また, 日本外傷診療研究機構, 日本 Acute Care Surgery 学会, 日本腹部救急医学会などの協力を得て, 専攻医の外傷の修練を強化した.

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰 (定款第4条第6号)

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り, 該当者から利益相反自己申告書を回収した.
- ・第18回臨床研究セミナーを下記のとおり行い, ホームページで動画配信した.  
 日時 平成29年4月29日  
 場所 パシフィコ横浜 (横浜市) 参加者数 1,307名
- ・第19回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い, ホームページで動画配信した.  
 日時 平成29年11月25日  
 場所 東京国際フォーラム (東京都千代田区) 参加者数 241名
- ・第24回研究奨励賞 (Surgery Today Research Award) を表彰した (5名).  
 深田 伸二 (国立長寿医療研究センター)  
 Haloperidol prophylaxis for preventing aggravation of postoperative delirium in elderly patients : a randomized, open-label prospective trial 47 : 815-526  
 小林 宏寿 (東京都立広尾病院外科)  
 Association between the age and the development of colorectal cancer in patients with familial adenomatous polyposis : a multi-institutional study 47 : 470-475  
 早坂 研 (琉球大学大学院医学研究科消化器・腫瘍外科学)  
 A new anatomical classification of the bronchial arteries based on the spatial relationships to the esophagus and the tracheobronchus 47 : 883-890  
 吉田 昇平 (福井循環器病院心臓血管外科)  
 Short-and long-term results of radial artery and saphenous vein grafts in the right coronary system : a propensity-matched study 47 : 335-343  
 水野 隆史 (名古屋大学腫瘍外科)  
 Adjuvant gemcitabine monotherapy for resectable perihilar cholangiocarcinoma with lymph node involvement : a propensity score matching analysis 47 : 182-192
- ・第117回定期学術集会のビデオ演題のうち, 優秀な10演題をビデオライブラリーに収録して, 制作補助費を支給した.  
 肥田 侯矢 (京都大学消化管外科)

「Knacks and pit falls in laparoscopic ISR and APR using TaTME technique」

須田 康一（慶應義塾大学医学部腫瘍センター）

「進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除のセットアップと手技の工夫：神経外側の層を解剖学的指標とした D2 リンパ節郭清」

藤井 努（富山大学消化器・腫瘍・総合外科）

「臍空腸吻合における Blumgart 変法縫合（Nagoya method）と手術成績」

白石 武史（福岡大学呼吸器・乳腺内分泌・小児外科）

「分岐部肺全摘術；Sleeve Pneumonectomy」

浦出 剛史（北播磨総合医療センター外科・消化器外科）

「肝切除における術中超音波を用いた胆道ナビゲーションサージャリーの現状と将来展望」

杉浦 禎一（静岡県立静岡がんセンター肝胆膵外科）

「肝膵同時切除（肝右葉・尾状葉切除，膵頭十二指腸切除，肝左葉・尾状葉切除，膵頭十二指腸切除，肝動脈合併切除・再建）」

吉武 明弘（慶應義塾大学外科（心臓血管））

「胸腹部大動脈瘤に対する Open 手術成績の検討」

岡部 寛（大津市民病院外科）

「食道胃接合部癌に対する内視鏡手術：横隔膜くりぬきによる経裂孔アプローチと胸腔内食道胃管吻合術」

永川 裕一（東京医科大学消化器・小児外科）

「安全確実な腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術を行う上での効果的な術野展開法」

松本 勲（金沢大学先進総合外科）

「肺アスペルギルス症が契機となった重篤な胸部感染症に対する遊離大網充填術」

- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1 名).

山上 裕機（和歌山県立医科大学外科学第 2 講座）

「膵臓癌に対する生存期間延長を目指した膵頭十二指腸切除術における mesenteric approach 法の有用性の検討：多施設共同無作為化比較第 III 相試験」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の補助金を支給した (5 名).

奥川 喜永（三重大学大学院消化管小児外科学講座・医学看護学教育センター）

「胃癌分泌型エクソソーム特異的蛋白の同定と、それを用いたエクソソーム包埋遺伝子情報の網羅的解析」

齋藤 裕（徳島大学消化器・移植外科）

「Epigallocatechin gallate (EGCG) による脂肪由来間葉系幹細胞 (ADSC) から Insulin producing cell (IPC) への効率的な分化誘導に関する研究」

中島雄一郎（九州大学大学院消化器・総合外科）

「組織血流カメラを用いた食道再建臓器血流の非侵襲的リアルタイム定量技術の開発」

前田 広道（高知大学医学部附属病院・がん治療センター）

「大腸癌切除後の肉眼的リンパ節検索の標準化に関する研究」

渡辺 亮（群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座肝胆膵外科分野）

「肝硬変合併肝細胞癌に対する新たな治療戦略の確立を目指して—新規バイオマーカー

M2BPGi に注目して一]

- ・ National Clinical Database (NCD) を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究の調整を行った。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・ 第 91 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。
  - 日時 平成 29 年 4 月 29 日
  - 場所 パシフィコ横浜（横浜市）参加者数 2,361 名
  - テーマ 「患者安全から質向上へー外科医が知りたい質管理マネジメントー」  
および 「外科医のキャリアデザインと留学」
- ・ 第 92 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。
  - 日時 平成 29 年 11 月 25 日
  - 場所 東京国際フォーラム（東京都千代田区）参加者数 504 名
  - テーマ 「低侵襲手術の pitfall」
- ・ 第 25 回生涯教育セミナーを下記のとおり行った。
  - テーマ 「医療安全」
  - (北海道地区)
  - 日時 平成 30 年 1 月 6 日
  - 場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市）参加者数 164 名
  - (東北地区)
  - 日時 平成 29 年 9 月 9 日
  - 場所 岩手県医師会館（盛岡市）参加者数 100 名
  - (関東地区)
  - 日時 平成 29 年 9 月 10 日
  - 場所 ヤクルトホール（東京都港区）参加者数 212 名
  - (中部地区)
  - 日時 平成 29 年 4 月 16 日
  - 場所 名古屋大学病院講堂（名古屋市）参加者数 233 名
  - (近畿地区)
  - 日時 平成 29 年 9 月 2 日
  - 場所 京都テルサ（京都市）参加者数 202 名
  - (中国四国地区)
  - 日時 平成 29 年 9 月 9 日
  - 場所 高知城ホール（高知市）参加者数 68 名
  - (九州地区)
  - 日時 平成 29 年 5 月 27 日
  - 場所 ホテルメルパルク熊本（熊本市）参加者数 141 名
- ・ 若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行った。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・ National Clinical Database (NCD) に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・ 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン (Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」を改訂し、サージカルトレーニングの普及を図った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発 (定款第4条第9号)

- ・ 広報活動として、第43回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。  
日時 平成29年4月30日  
場所 前橋市民文化会館 (前橋市)  
テーマ 「若者に伝える外科医という仕事」

⑩医療政策に関する建議 (定款第4条第10号)

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合 (外保連) に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・ 「医療事故調査・支援センター」 (日本医療安全調査機構) の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・ 医療法施行規則の改正に則り、高難度新規医療技術に該当しうる術式のリストを関連学会と協働で作成した。
- ・ 「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、日本麻酔科学会と懇談を行った。
- ・ 日本女性外科医会と協働で、「働くドクターストレス調査」を行った。
- ・ 「周術期管理・麻酔におけるマンパワーと労働環境およびチーム医療に関する実態調査」を行った。
- ・ 「全国外科医仕事と生活の質調査」の分析を行った。
- ・ 外科医の適正数について調査し、その結果を元に初期臨床研修における外科の必修化や、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第7号)

- ・ 理事長および副理事長の選任を行った。
- ・ 代議員の選任を行った。
- ・ 財務の健全化に向けて検討した。
- ・ システムサーバーやオンラインサービスなどの内容の見直しを行った。
- ・ 厚生労働省補助金事業の「平成29年度外傷外科医養成研修事業」の実施者に採択され、研修を実施した。